

平成 27 年 11 月 17 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行  
代表者名 代表取締役社長 工藤 英之  
(コード番号 : 8303 東証第一部)

**「新生・WA 米国地方債ファンド(適格機関投資家限定)」の販売開始について**  
～米国地方債に投資する証券投資信託を新生インベストメント・マネジメントで設定～

当行は、米国のウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー(Western Asset Management Company、<http://www.westernasset.com/us/en/> 以下、「ウエスタン・アセット」)の日本法人であるウエスタン・アセット・マネジメント株式会社(東京都千代田区、代表取締役 折目尚也)と連携し、米国地方債を主要投資対象とする適格機関投資家向け証券投資信託の販売を開始いたしました。

今回販売する商品は、追加型証券投資信託「新生・WA 米国地方債ファンド(適格機関投資家限定)」(以下、「当ファンド」)で、新生インベストメント・マネジメント株式会社(東京都中央区、代表取締役社長 外和正光、以下、「SIM」)が平成 27 年 11 月 17 日に設定しました。

当ファンドは、主として米国地方債に投資を行い、インカム収入の獲得と信託財産の成長を目指します。米国地方債の中でも、地方自治体が運営する公共施設や事業からの財源のみを償還原資とする歳入債(レベニュー債)を中心に投資します。米国地方債市場は平成 27 年 6 月時点で約 445 兆円(1 ドル 120 円換算)<sup>\*</sup>と、日本国内の地方債市場の約 3 倍の規模の市場を形成していますが、これまで富裕層を中心とした米国の国内投資家が購入しており、日本の投資家が投資する機会はほとんどありませんでした。米国地方債は A 格以上の発行体が大半を占め、クレジットリスクが相対的に低いことから、新たなアセットクラスとして、信用力が高く安定したリターンが期待されます。当ファンドの主な特長については、以下をご参照ください。

当行では、地域金融機関や保険会社などの資金運用の多様化ニーズに対応し、今後もユニークかつ市場動向をとらえた新ファンドの販売に注力してまいります。

#### 【当ファンドの特長】

1. 当ファンドは、SIM がウエスタン・アセットに運用権限の一部委託を行うマザーファンドを通じて、主として米国地方債に投資を行います。
2. 米国地方債は、州や郡、市などの地方自治体政府の歳入全般を源泉として発行される一般財源保証債と、自治体が運営する電気・ガス事業、有料道路、空港や港湾施設などの社会インフラ・事業の維持整備を目的として、特定の施設や事業による財源のみを償還原資とする歳入債(レベニュー債)で構成され、当ファンドは主としてレベニュー債に投資します。レベニュー債とは、州、地方自治体政府の信用力とは独立した発行体の信用力により発行され、情報公開により過去から現在に至る事業財務状況が確認できることから、多くの銘柄が A 格以上と、高い格付けを取得しています。
3. 米国地方債は同水準の格付けを有する社債と比べてもデフォルト率が極めて低く、信用力が高いのが特長です。当ファンドは、A 格以上の債券を投資対象とし、信用リスクに対して慎重な適格機関投資家にも取り組みやすい設計となっております。

<sup>\*</sup>出典: Securities Industry and Financial Markets Association (SIFMA) (<http://www.sifma.org/>)

以 上

株式会社新生銀行／登録金融機関: 関東財務局長(登金)第 10 号／加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会